

製品名: リン酸化 SHP2 (Y542) (7K17) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe06005

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPN11
別名	BPTP3; CFC; MGC14433; NS1; PTN11; PTP-1D; PTP-2C; PTP2C; PTPN11; SH-PTP2; SH-PTP3; SHP-2; Shp2; SHPTP2;
遺伝子 ID	5781.0
SwissProt ID	Q06124
免疫原	ヒト SHP2 の Tyr542 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

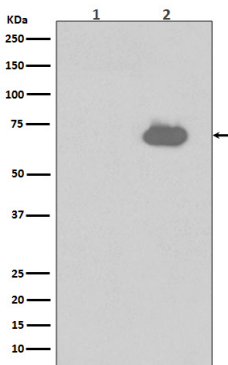
背景

SHP-2 は、SH2 を含む普遍的に発現するチロシン特異的タンパク質ホスファターゼです。成長因子、サイトカイン、ホルモン、抗原、細胞外マトリックスの受容体の下流におけるシグナル伝達に関与し、細胞の増殖、分化、遊走、および細胞死を制御します。様々な受容体および細胞質タンパク質チロシンキナーゼの下流に作用し、細胞表面から核へのシグナル伝達に関与します (PubMed:10655584、PubMed:18559669、PubMed:18829466、PubMed:26742426、PubMed:28074573)。MAPK シグナル伝達経路を正に制御します (PubMed:28074573)。GAB1、ARHGAP35、EGFR を脱リン酸化します (PubMed:28074573)。ROCK2 の「Tyr-722」を脱リン酸化することで、RhoA 結合活性を刺激します (PubMed:18559669)。CDC73 を脱リン酸化します (PubMed:26742426)。SOX9 のチロシン残基を脱リン酸化することで、SOX9 を不活性化し、骨化を促進します (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) NIH/3T3 細胞溶解物、(2) PDGF 処理した NIH/3T3 細胞溶解物における Phospho-SHP2 (Y542)発現のウエスタンブロット解析。